

豊水の果実肥大予測～第1報～(満開後40日:6月6日発表)

農業試験場の収穫時横径は100.4mm(平年比97%)、果重は502g(平年比94%)と平年より小さいと予測されます。
また、収穫始の果実は24玉中心、収穫盛では20玉中心の玉流れになると予測されます。

栃木県農業試験場

日射量予想	6月	平年並	→平年と同様に曇りや雨の日が多い
	7月	やや少ない	→平年に比べ曇りや雨の日が多い
	8月	平年並	→平年と同様に晴れの日が多い
	9月		

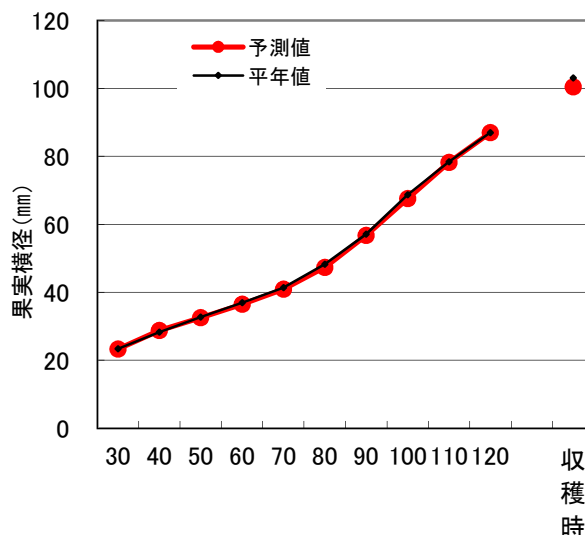
※宇都宮地方気象台発表の5/25時点での3ヶ月予報より

※平年の晴れの日 6月は11日 7月は14日 8月は18日 9月は13日

満開後40日の果実横径をもとに、果実肥大予測モデルから推定した

農業試験場内での果実横径予測

満期後日数	2016	平年	平年比	前年比
30	23.3mm	23.4mm	100%	91%
40	28.8mm	28.3mm	102%	93%
50	32.6mm	32.7mm	100%	90%
60	36.5mm	37.0mm	99%	89%
70	41.0mm	41.4mm	99%	89%
80	47.3mm	48.3mm	98%	91%
90	56.7mm	57.1mm	99%	91%
100	67.6mm	68.7mm	98%	90%
110	78.2mm	78.4mm	100%	92%
120	87.0mm	87.0mm	100%	94%
収穫時	100.4mm	103.1mm	97%	98%
果重	502g	535g	94%	94%



※40日までは実測値、50日以降は予測値

満開後日数
図 豊水の果実横径の予測(農試)

	予測月/日	満開後日数	横径	果重	体積
収穫始	9/3	139日	97.1mm	461g	407
24玉中心					
収穫盛	9/13	149日	100.4mm	502g	448
20玉中心					



備考

- ・満開後40日時点(5/27)での、豊水の果実横径は28.8mm(平年比102%)と平年並となっています。
- ・季節予報による6月～8月の天候から、今後の果実肥大を予測すると、収穫時横径は100.4mm(平年比97%)、果重は502g(平年比94%)と平年より小さいと予測されます。
- また、収穫始の果実は24玉中心、収穫盛では20玉中心の玉流れになると予測されます。
- ・なお、果実肥大は気象状況や栽培管理により変化します。今後の気象や肥大の推移に注意してください。

※豊水の果実肥大予測は、細胞分裂停止期(概ね満開後37日)の果实体積とその後の日射量および生育ステージにより変化するパラメーターから計算しています。

このプログラムは、栃木県内のナシの発育を予測するものであり、県組織(試験場)でのみ使用できます。
他者及び外部組織への譲渡・利用は厳禁とします。また、プログラムの複製、改良を行う場合には必ず制作者への連絡を厳守して下さい。

制作：栃木県農業試験場 研究開発部 果樹研究室

Tel 028-665-7143

：(独)農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所 栽培・利用研究領域 Tel 029-838-6506